

科目名	デザインアイテム論 [プロダクト] (卒業必修)				
授業形態	講義	学年	1		
開講時期	2023年度 後期	単位数	2		
担当教員	沈 得正				
内容および計画	<p>プロダクトデザインが対象とするアイテムは、概ねに我々生活に関わるさまざまな生活用品・機械・設備などの製品が多い。それらの製品を開発する際には、さまざまな知識やスキルが求められる。</p> <p>本講義では、指定教科書を用いて、デザイン実務からマネジメント、関連手法や技術まで、プロダクトデザインを学ぶ人の標準知識について勉強する。授業は小テスト（計10回）形式で行った後、解説をすることでプロダクトデザインについて理解を深めていく。</p> <p>また、指定教科書の内容（テーマ）を重点的に抽出し、下記の授業計画に沿って適宜に資料を配布し講義を行っていく。各テーマの講義を終えた後に、発表してもらい、それぞれの内容をについて理解を深めていく。</p>				
1	プロダクトデザインの背景について				
2	キッズデザイン — キッズプロダクトのデザイン要素①：潜在的要素				
3	キッズデザイン — キッズプロダクトのデザイン要素②：顕在的要素				
4	キッズデザイン — キッズデザインに係るクリエイティブな思惟方法①：抽象思惟				
5	キッズデザイン — キッズデザインに係るクリエイティブな思惟方法②：形象思惟				
6	キッズデザイン — 良いと思われるキッズプロダクトの選別&分析（発表会）				
7	ユニバーサルデザイン — ユニバーサルデザインの概要				
8	ユニバーサルデザイン — 体が不自由の人のためのデザイン提案（発表会）				
9	地域デザイン — 地域デザインの概要				
10	地域デザイン — 地場産業の技術を活かすためのデザイン提案（発表会）				
11	家具デザイン — 家具デザインの概要				
12	家具デザイン — 市販の家具について				
13	エコデザイン — エコデザインの概要				
14	技術とデザイン — アドバンスデザイン				
15	技術とデザイン — 良いと思われるIoT製品（発表会）				
<b>教科書</b>					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	Product design の基礎：スマートな生活を実現する71の知識	日本インダストリアルデザイナー協会編	東京：ワークスコアポレーション	9784862671738	2014
<b>参考書</b>					
<b>成績評価</b>					
	評価方法			割合(%)	
	発表会のプレゼンテーション			40	
	テスト			60	

欠席（－５点）、遅刻（－２点）、早退（－２点）は、減点します。５回以上の欠席は不合格とします。問題のある授業態度（居眠りやおしゃべり等）は、減点の対象とします。	
学習到達目標	以下の知識を身につけることが学修目標とされる。 ①キッズプロダクトデザインを行う際の注意事項 ②ユニバーサルデザインを行う際の注意事項 ③地域デザインを行う際のアプローチ方法 ④家具デザインを行う際の注意事項 ⑤エコデザインに繋がる要素 ⑥未来の製品のデザインを行う際のアプローチ方法
先修条件	
実務経験	
その他	